

議会改革特別委員会

■議員定数の見直しについて検討開始

6月24日に第3回の特別委員会を開催し、議会改革を進める上で、重要な課題の一つである議員定数の見直しについて、各議員からさまざまな意見がありました。

主な意見は次のとおりです。

- ・議会報告会等を地域で行うことで、市民から理解してもらえる点もあるかもしれない。まだ我々の努力不足もあると思う。何人かは減らすことになるかと思うが、議員としてのこれからの活動にかかっている。
- ・多様な意見を反映させるという点で、定数削減には、基本的に反対である。
- ・若干は減らすべきである。現状維持に近いようなら、報酬を減らすべきではないか。
- ・地域性や面積を勘案した中で、考えていくべきである。
- ・周辺地域の状況から勘案すると、3名減の18人というふうにならざるを得ないのではないか。
- ・議員定数については、地域の方とも話し合っていき、議会報告会もできるような方向に持っていかなければならない。
- ・3常任委員会の構成にも影響が出るので、むやみに減らすべきではない。
- ・人口問題、面積の問題等を勘案すれば、これ以上減らすと議員が出てくる地域が偏在し、空白地帯が生まれ、そういう地域の方々の気持ちがわからないと思うので、基本的には現状維持である。
- ・18人程度は委員会構成や議会運営についても、最低必要であると思う。

■議員研修会を開催

8月19日に松山大学法学部長の妹尾（せのお）克敏氏を講師に招き、「自治体議会改革と『議員のモラル』について」と題しての講演と研修会を開催しました。

講演では、「これからは自分たちが考えた自身と自分たちが無理なく使える言葉を盛り込んだ議員提案の条例案が日常的でないといけない。」「伊予市議会には、伊予市議会なりの仕組みや独自性があってもいい。」など、これから伊予市議会が目指すべきポイントとなる言葉をいただきました。



松山大学妹尾法学部長を招き開催した議員研修会

■意見交換会の開催を決定

9月16日に第5回の特別委員会を開催し、市民の皆様との意見交換会を開催することを決定しました。

予定では、市内6カ所（伊予地域4カ所、中山・双海地域1カ所ずつ）で、年内に開催予定です。

開催日等の詳細は、後日各地域の広報区長等にお知らせいたします。

◆議会を傍聴しませんか◆

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催しており、どなたでも傍聴することができます。

次回開催の12月定例会の日程は、広報「いよし」12月号に掲載されますので、ご参照ください。

編集後記

前回より、新しくなった議会だよりはいかがでしたか？読みやすくなりましたか？限られた紙面の中で、公平にそしてわかりやすく伝えることができるのか？日々、編集委員のメンバーで意見を出し合っています。時には意見がぶつかることもあります。そんな時はしっかりと相手の意見を聞き、話し合える場を持つことが大切ではないかと感じる日々です。

今後ともご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

文責 門田裕一

議会広報調査特別委員会
委員長 日野猛一
副委員長 門田裕一
委員 北橋裕一
委員 高井洋一
委員 正岡千博
委員 武智邦典
委員 岡田博助